

Question

過量投与時の症状は？



Answer

本剤（フルティフォーム[®]）を過量投与した場合、ホルモテロールフマル酸塩水和物（ β 刺激剤）の薬理作用によって、動悸、頻脈、不整脈、振戦、頭痛や筋痙攣などが発現する可能性があります。また、重篤な症状として、血圧低下、代謝性アシドーシス、低カリウム血症、高血糖、心室性不整脈あるいは心停止等が発現する可能性があります。

また、フルチカゾンプロピオン酸エステル（ステロイド剤）により、副腎皮質機能抑制による疲労感、意識低下、嘔吐、食欲不振、発熱や顔面蒼白などが発現する可能性があります。副腎皮質機能が抑制されている患者では、外傷、手術、感染、本剤の急速な減量時等に急性副腎皮質機能不全が発現する可能性があります。

過量投与による症状が認められた場合、本剤を減量する際には、患者の管理を十分に行いながら徐々に減量を行ってください。

添付文書の記載は、以下のとおりです。

13. 過量投与

13.1 症状

ホルモテロールフマル酸塩水和物の過量投与により、動悸、頻脈、不整脈、振戦、頭痛及び筋痙攣等、 β 刺激剤の薬理学的作用による全身作用が発現する可能性がある。また、重篤な症状として、血圧低下、代謝性アシドーシス、低カリウム血症、高血糖、心室性不整脈あるいは心停止等が発現する可能性がある。

フルチカゾンプロピオン酸エステルの過量投与（通常用法・用量を超える量等）により副腎皮質機能抑制等の全身性の作用がみられることがある。副腎皮質機能が抑制されている患者においては、外傷、手術、感染、本剤の急速な減量時等に急性副腎皮質機能不全が発現する可能性がある。 [8.2、11.1.2参照]

13.2 処置

過量投与後に本剤を減量する際は、患者の管理を十分に行いながら徐々に行うこと。

- ・添付文書（13項） [2021年11月改訂（第4版）]
- ・患者向医薬品ガイド [2020年6月更新]